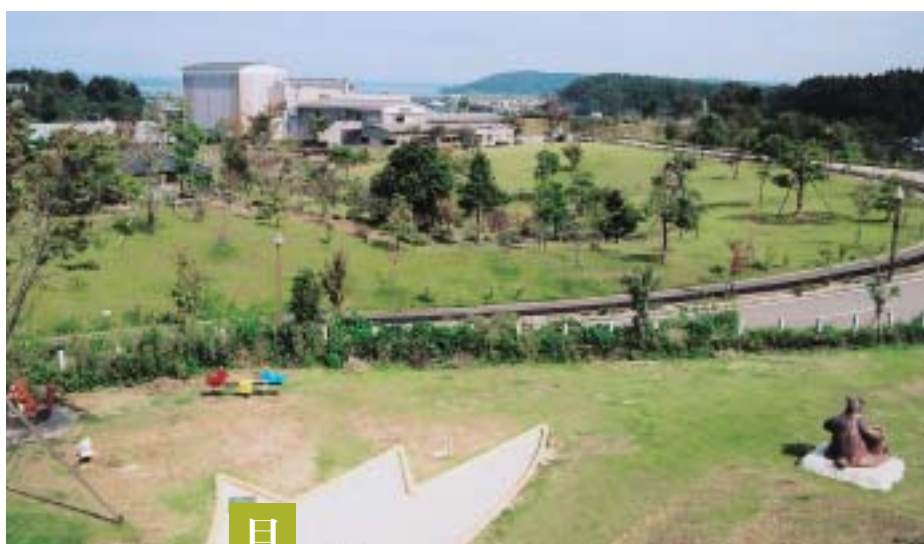




## シンボルロード

七尾駅前と能登食祭市場、二つの交流拠点  
を結ぶ都心軸となる道路です。  
ゆったりとした歩道からは御祓川を散策で  
きるようになり、親水性の高い空間に生まれ  
変わりました。みち・かわ・まちなみが一体  
となった「明るい和風の港町」をテーマに景  
観の整備をさらに進めます。



## 日和ヶ丘カルチャーパーク

シンボルとなっている文化施設サンビ  
ーム日和ヶ丘を中心に、芝生の広場、親  
水噴水池などを併設した憩いの空間で  
す。子どもからお年寄りまで多くの市民  
に親しまれています。

## 七尾市中央水質管理センター

平成16年4月、待望の公共下水道事業  
七尾処理区の供給を開始しました。平成  
21年度までには事業認可区域300ha、  
計画人口11,000人余りの汚水を処  
理する予定です。

きれいな川や海を取り戻し、元気なま  
ちづくりを推進していきます。



# 七尾市の概要

## 七尾市のあゆみ

- |      |       |     |  |
|------|-------|-----|--|
| 1870 | 明治3年  | 5月  | 旧幕府領（旧中島町域一別所、横見、深浦、瀬嵐、谷内、外、田岸・旧七尾市域一八幡、下、熊淵、山崎、花園、東浜、大泊、黒崎、佐々波、庵、江泊、大野木、租浜、石崎）及び土方領（外林、柑子山、清水平、楨山、小栗）が飛騨県に入る。この9日後、飛騨県が高山県と改称される。 |
| 1871 | 明治4年  | 7月  | 廃藩置県で金沢藩が金沢県となる。   |
| "    | "     | 11月 | 能登国4郡（上記高山県治下旧幕府、土方領を含む）と越中射水郡の5郡で七尾県となり、所口町会所（現七尾中央郵便局）に県庁が置かれる。  |
| 1872 | 明治5年  | 2月  | 金沢県を石川県と改称する。  |
| "    | "     | 9月  | 七尾県を廃止し、能登4郡を石川県に編入する。（太政官布告第291号）   |
| 1889 | 明治22年 | 4月  | 市町村制実施に伴い、鹿島郡七尾町、南大呑、北大呑、崎山、東湊、矢田郷、徳田、西湊、石崎、高階、端、田鶴浜、赤蔵、相馬、金ヶ崎、西岸、熊木、中島、豊川、笠師保、東島、中乃島、西島各村と羽咋郡鉦打村ができる。                             |
| 1934 | 昭和9年  | 6月  | 端村、田鶴浜村、赤蔵村の合併により、和倉町ができる。   |
| 1939 | 昭和14年 | 7月  | 七尾町、徳田、矢田郷、東湊、西湊、石崎各村と和倉町の字和倉、奥原が合併し、七尾市制実施。和倉町は字和倉、奥原を除き田鶴浜町として発足する。  |
| 1948 | 昭和23年 | 4月  | 鉦打村が羽咋郡より鹿島郡に編入。   |
| 1954 | 昭和29年 | 3月  | 南大呑、北大呑、崎山、高階の各村が七尾市に編入される。<br>田鶴浜町、相馬村、金ヶ崎村の合併により新制田鶴浜町制実施。<br>西岸、熊木、中島、豊川、笠師保、鉦打各村の合併により中島町制実施。                                  |
| 1955 | 昭和30年 | 2月  | 東島村、中乃島村、西島村の合併により能登島町制実施。   |
| 1982 | 昭和57年 | 4月  | 能登島大橋有料道路開通（平成10年7月より無料化）。   |
| 1999 | 平成11年 | 3月  | 中能登農道橋（ツインブリッジ）が開通。  |
| 2004 | 平成16年 | 10月 | 七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町の合併により新制 <b>七尾市誕生</b> 。   |

